



教報 伊勢大神楽



第16号

発行所 宗教法人神道伊勢大神楽教 教務本庁
〒569-1039 大阪府高槻市清水台1-9-30
TEL (FAX) 072-688-2156
日野布教所 〒529-1641 滋賀県蒲生郡日野町日田304
TEL (FAX) 0748-52-0500

発行人 渋谷 章

悠久の獅子が舞う

<http://www.ise-daikagura.jp>

<http://www.isedaikagura.or.jp>

人々の注目集め、冴える“放下芸”



伊勢大神楽はもちろん、獅子を舞うことによって人々を魅了するが、一方で「放下芸」と呼ばれる曲芸の演目を数多く余興芸としてもっているのが、特徴である。宗教芸能集団としても世の中から注目を浴びている。(上=10/25、竜王町山之上老人会。右=8/15、永平寺門前)



年間行事

■事始祭

正月元旦

馬見岡綿向神社

■門付け布教

一月から三月

滋賀県

四月から六月

三重県

七月から九月

京都府

大阪府

十月から十二月

福井県

香川県

兵庫県

■春季神楽例大祭

五月第二日曜日・本部

■秋季神楽例大祭

十一月第三日曜日
日野布教所

福井県・若狭(6月)



※この他、随時、地域行事への参加。出張布教を行っています。

平成二十六年秋季节例大祭齋行

宗教法人認証から十周年を迎え新たなスタートを切った宗教法人神道伊勢大神楽教の平成二十六年秋季节例大祭が昨年の十一月十六日、滋賀県蒲生郡日野町日田三〇四の日野布教所で伝えられた。齋主は渋谷章教主で、越前や関西方面から約三十名の来賓を迎えて厳かに執り行われた。

祝詞を奏上する齋主の渋谷章教主



来賓ら迎え、厳かに

大祭は午前十一時から、大阪や香川、福井など門付先から来賓らが参列して始まった。太鼓を合図に雅楽が流れる中、六人の祭員が「手水の儀」を行ない本殿へ。「修祓」の後、齋主の渋谷教主によって「御扉開扉」。米や酒をはじめ海の幸、山の幸を供える「神饌」が無言の中で行なわれ、齋主が朗々と祝詞を奏上。祭神の神楽草創と神徳の故事来歴を述べ、神恩感謝の信仰生活を祈願した。

続いて、約六百年の伝統



と歴史を持つ伊勢大神楽を

奉納。神楽草創の舞いとされる「鈴の舞」と四方を清め祓う「剣の舞」が笛と太鼓の囃子にのって舞われ、「神慮」を慰め、神と人が一体となる境地を祈願した。



上＝「降神之舞」をする社中。左上＝修祓の儀。左下＝なごやかに行われた直会

この後、齋主、参拝らが玉串を奉奠し拜礼。供えものを下げる撤饌を行なった。

この後、場所をかえて、午前十二時半から直会が行なわれ、やがて始まる元旦から休みなしの「門付け布教」の話題など通じて、伊勢大神楽の布教について意見を交換し合っ

大祭を終えて、渋谷教主は「多くの氏子、信者の要望で本格的な神楽大祭を行なったが、あらためて御神徳の深き厚きことに感謝の気持ちでいっぱいだ。元旦からは門付け布教で個別に巡回するが、今後もうこうした大祭を通じて、人々との触れ合い、交流を通じ互いの信仰を深めていきたい」と話していた。

東大阪市吉田で（10・15）



南丹市八木町の船井神社



昨年で7回目の小豆島・丸島醤油のイベント



大阪・茨木市の五十鈴ケアセンター



春夏秋冬、人々の幸せ願い門付や奉舞布教



豊漁と安全を祈願。福井・越前小樟漁協



京都ロイヤルホテルでの叙勲祝賀会で（7・20）



八尾市木之本の秋祭り（10・11）



滋賀県五個荘竜田町の竜田神社（9・23）



亀岡保津川ライオンズクラブ結成20周年記念祝賀会で奉舞

獅子舞はイベントなど様々な会に呼ばれて出演します。この日はライオンズの結成記念祝賀会。10月29日、亀岡道の駅「ガレリア」で。



京都南丹市の妙霊教会で（4・20）

今年9月、韓国・安東民族祝祭

「安東国際仮面舞フェスティバル」へ出演



「安東国際仮面舞フェスティバル（アンドンクッチェタルチュムペスティボル）」は、河回村をはじめとし、歴史文化の観光地があちこちに残っている安東の代表的な祭りです。国内のみならず海外の代表的な公演団体が参加して民俗劇公演を披露し、韓国の重要歴史文化財に指定されている「別神グツ（祈祷の儀式）仮面劇」などを観賞することができます。特にこの祭りでは、マスクダンス競演大会や仮面講習など外国人も参加出来る様々なイベントが行われ、野外の公演会場では仮面をテーマにした公演が度々繰り上げられ観客を魅了します。

獅子の舞が奉納された伊勢大神楽＝筒井会館



2014年(平成26年)12月9日 火曜日 新 戸 新 戸

黒豆の収穫時期に篠山各地で見られる風物詩、伊勢大神楽が8日、篠山市井ノ上の筒井会館で奉納され、約120人が集まった。また、お年寄りを喜ばせようと児童らがクリスマス会を開催。サンタの衣装で盛り上げた。

地域住民が交流する「にこにこサロン」で、毎年神道伊勢大神楽教（大阪府高槻市）が神楽を披露する。座員らは、しの笛や鼓のおはやしに合わせ、2体の獅子舞を奉納した。

続いて、普段から同サロンに参加している城東小児童約10人がサンタやトナカイにふんして登場。「元気で長生きしてください」など手書きのメッセージが入ったプレゼントをお年寄りに手渡し「赤鼻のトナカイ」などを一緒に歌った。

参加者は「いつの間にも用意したんやろうね」「成長したね」とうれしそうなお様子。同小5年の向井滋緒奈

神戸新聞に掲載されました

黒豆の収穫時期、篠山各地で見られる風物詩、伊勢大神楽が8日、篠山市井ノ上の筒井会館で奉納され、約120人が集まった。また、お年寄りを喜ばせようと児童らがクリスマス会を開催。サンタの衣装で盛り上げた。

地域住民が交流する「にこにこサロン」で、毎年神道伊勢大神楽教（大阪府高槻市）が神楽を披露する。座員らは、しの笛や鼓のおはやしに合わせ、2体の獅子舞を奉納した。

続いて、普段から同サロンに参加している城東小児童約10人がサンタやトナカイにふんして登場。「元気で長生きしてください」など手書きのメッセージが入ったプレゼントをお年寄りに手渡し「赤鼻のトナカイ」などを一緒に歌った。

参加者は「いつの間にも用意したんやろうね」「成長したね」とうれしそうなお様子。同小5年の向井滋緒奈

さんは「喜んでもらえ、やって良かった」と笑顔だった。（井垣和子）



編集後記

平成二十六年は災害の多い年でありました。台風や雨や雪など、自然の前にはあらためて人間の非力さを痛感させられました▽だからこそ、古代から「畏れ」というものを感じていたのでしょうか。しかし、現代人は科学の進歩により、すべてが、説明つくかのように思われます▽伊勢大神楽はそんな人間の驕りや思い上がりを諷めてくれます。自分以外の大きいなるものを認めて生きることが今必要とされているのでは。（章）